

注3

大学番号：私236

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

関西国際大学 国際コミュニケーション学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人濱名学院

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学改革本部企画課

職名・氏名 サオトメ 早乙女 カツヒコ 勝彦

電話番号 0794-84-3500

（夜間） 0794-85-2288（代表）

F A X 0794-85-1102

e-mail pres-sec@kuins.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際コミュニケーション学部

＜英語コミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人濱名学院

(2) 大学名

関西国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒661-0976

兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号（兵庫県三木市志染町青山1丁目18番）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成18年6月)		
学 長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成17年4月)		
学 部 長	(コシヤマ ヤスコ) 越山 泰子 (平成31年4月)	(ワタナベ ヨリズミ) 渡邊 頼純 (平成31年4月)	学部運営強化のため任用 (元)
学科長等		(コシヤマ ヤスコ) 越山 泰子 (平成31年4月)	学科運営強化のため任用 (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科 学士(英語学)	文学関係	4年	50人	- 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	50 (-) [-]										1.10 倍	-	
志願者数	383 (-) [27]	- (-) [-]											
受験者数	362 (-) [27]	- (-) [-]											
合格者数	84 (-) [9]	- (-) [-]											
B 入学者数	55 (-) [5]	- (-) [-]											
入学定員超過率 B/A	1.10												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	55 [5] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	55 [5] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	55 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{55} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	英語基礎1	1春		2		1						
	リーディング1	1春		2				1				
	ライティング1	1春		2			1				1	
	オーラル・コミュニケーション1	1春		2			1					
	英語基礎2	1春・秋		2			1				1	
	リーディング2	1春・秋		2			1				1	
	ライティング2	1春・秋		2			1					
	オーラル・コミュニケーション2	1春・秋		2			1				1	
	英語総合1	1春・秋	2				1					
	リーディング総合1	1春・秋	2				1					
	ライティング総合1	1春・秋	2			1					1	
	アドバンスト・コミュニケーション1	1春・秋	2				1					
	英語総合2	1春・秋	2								1	
	リーディング総合2	1春・秋	2			1						
	ライティング総合2	1春・秋	2								1	
	アドバンスト・コミュニケーション2	1春・秋	2				1					
	アカデミック英語	2春		2			1					
	グローバル事情	2春		2			1					
	総合英語Ⅰ	1春		2				1				
	総合英語Ⅱ	1秋		2				1				
	総合英語Ⅲ	2春		2				1				
	総合英語Ⅳ	3春		2				1				
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1				1				
	インテンシブイングリッシュⅡ	1冬		1				1				
	インテンシブイングリッシュⅢ	1夏		1				1				
小計(25科目)	-		16	31	0	2	4	1	0	0	3	
基幹科目	異文化理解	1秋	2								1	
	経済学基礎	1夏	2								1	
	国際関係	2春	2								1	
	アジア研究	2春		2			1					
	日本研究	1秋		2							1	
	言語と文化	2春		2			1					
	文化人類学	1秋		2			1					
	経営学概論	3秋		4								1
小計(8科目)	-		6	12	0	0	1	0	0	0	5	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	英語基礎1	1春		2				1				
	リーディング1	1春		2								2
	ライティング1	1春		2			1				1	
	オーラル・コミュニケーション1	1春		2				1				
	英語基礎2	1秋		2				1				
	リーディング2	1秋		2								2
	ライティング2	1秋		2								1
	オーラル・コミュニケーション2	1秋		2				1				
	英語総合1	1春	2					1				
	リーディング総合1	1春	2					1				
	ライティング総合1	1春	2			1		1				
	アドバンスト・コミュニケーション1	1春	2					1				
	英語総合2	1秋	2						1			
	リーディング総合2	1秋	2						1			
	ライティング総合2	1秋	2					1	1			
	アドバンスト・コミュニケーション2	1秋	2						1			
	アカデミック英語	2春		2			1					
	グローバル事情	2春		2			1					
	総合英語Ⅰ	1春		2				1				
	総合英語Ⅱ	1秋		2				1				
	総合英語Ⅲ	2春		2				1				
	総合英語Ⅳ	3春		2				1				
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1				1				
	インテンシブイングリッシュⅡ	1夏		1				1				
	インテンシブイングリッシュⅢ	1冬		1				1				
小計(25科目)	-		16	31	0	4	2	0	0	0	3	
基幹科目	異文化理解	1秋	2								1	
	経済学基礎	1秋	2								1	
	国際関係	2春	2					1				
	アジア研究	2春		2			1					
	日本研究	1秋		2							1	
	言語と文化	2春		2			1					
	文化人類学	1秋		2			1					
	経営学概論	3秋		4								1
小計(8科目)	-		6	12	0	1	1	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	課題研究(グローバルリサーチ)	2秋	16			2						
	日本のポップカルチャー	2春	2				1					
	日本文学	2春	2								1	
	経済学概論	3春	4									1
	マーケティング	3春	4									1
	ファイナンス	3秋	4									1
	実践ビジネス英語 I	3春	2									1
	実践ビジネス英語 II	3秋	2									1
	ビジネスプレゼンテーション	2春	2									1
	ホスピタリティマネジメント	3秋	4									1
	ビジネスマナー	3春	2									1
	航空実務	3春	4									1
	ホテル実務	2春	4									1
	ツーリズム事情 I	3春	2									1
	ツーリズム事情 II	3秋	2									1
	ツアーガイド実務	3秋	4									1
	通訳入門	2春	2									1
	サービスラーニング I	1春～秋	2			1						
	サービスラーニング II	2春	2			1						
	インターンシップ I	1夏	1			1						
	インターンシップ II	1夏	2			1						
	インターンシップ III	1夏	4			1						
	言語学概論	2春	2				1					
	日本語の構造 I	1春	2				1					
	日本語の構造 II	1秋	2				1					
	日本語教育事情	2春	2				1					
	日本語コミュニケーション	2春	2			1						
	日本語教授法	3春	2			1						
	日本語教育の実践と評価	3秋	2			1						
	英語音声学	3秋	2			1						
	英語学 I	1春	2			1						
	英語学 II	1秋	2			1						
英米文学概論	2夏	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	課題研究(グローバルリサーチ)	2秋	16			2						
	日本のポップカルチャー	2春	2				1					
	日本文学	2春	2									1
	経済学概論	3春	4									1
	国際経済論	3秋	2									1
	マーケティング	3春	4									1
	アジアマーケティング論	3秋	2									1
	ファイナンス	3秋	4									1
	ビジネス統計学	2春	4									1
	国際通商法	3秋	2					1				
	国際経営論	4春	2									1
	インバウンドツーリズム産業論	3秋	2									1
	実践ビジネス英語 I	3春	2									1
	実践ビジネス英語 II	3秋	2									1
	ビジネスプレゼンテーション	2春	2									1
	ホスピタリティマネジメント	3秋	4									1
	ビジネスマナー	3春	2									1
	航空実務	3春	4									1
	ホテル実務	2春	4									1
	ツーリズム事情 I	3春	2									1
	ツーリズム事情 II	3秋	2									1
	ツアーガイド実務	3秋	4									1
	通訳入門	2春	2									1
	社会学概論	1春	2									1
	サービスラーニング I	1春～秋	2					1				
	サービスラーニング II	2春	2					1				
	インターンシップ I	1夏・冬	1						2			
	インターンシップ II	1夏・冬	2						2			
	インターンシップ III	1夏・冬	4						1			
	言語学概論	2春	2						1			
	日本語の構造 I	1春	2							1		
	日本語の構造 II	1秋	2							1		
日本語教育事情	2春	2							1			
日本語コミュニケーション	2春	2			1							
日本語教授法	3春	2			1							
日本語教育の実践と評価	3秋	2			1							
英語音声学	3秋	2			1							
英語学 I	1春	2			1							
英語学 II	1秋	2			1							
英米文学概論	2夏	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	英語科教育法Ⅰ	2春		2		1						
	英語科教育法Ⅱ	3春		2		1						
	英語科教育法Ⅲ	3秋		2		1						
	英語科教育法Ⅳ	3冬		2		1						
	教育学概論	1春		2							1	
	教職概論	2春			2						1	
	教育社会学	2春		2							1	
	学校経営論	2春		2							1	
	教育制度論	3秋		2							1	
	教育心理学	2春		2							1	
	発達心理学	1春		2							1	
	特別支援教育基礎	2夏			1						1	
	教育課程論	3秋			2						1	
	道德教育の指導法	2冬			2						1	
	総合的な学習の時間の指導法	2冬			1						1	
	特別活動の指導法	2春			2						1	
	教育方法論	2秋			2						1	
	教育相談	3春		2							1	
	生徒・進路指導論	3秋			2						1	
	教育実習Ⅰ	3秋～4春			5	1						
教育実習Ⅱ	3秋～4春			3	1							
教職実践演習(中・高)	4秋			2	1							
ボランティア実習	3春			2						1		
英文法研究	2春		2		1							
英語発音クリニック	2春		2		1							
児童英語	3春		2		1							
小計(59科目)	-		16	107	26	4	2	0	0	0	20	
総合演習	専門演習Ⅰ	2春	2			2						
	専門演習Ⅱ	3春	2			1	2					
	専門演習Ⅲ	3秋	2			2	1					
	卒業研究	4通	4			2	1					
	小計(4科目)	-	10	0	0	4	3	0	0	0	0	0
基盤教育科目	評価と実践Ⅰ	1～2	1			2						
	評価と実践Ⅱ	3～4	1			1	1					
	リーダーシップ演習	1冬		1							1	
	仕事とキャリア形成Ⅰ	2春	2				1				1	
	仕事とキャリア形成Ⅱ	3秋		2			1				1	
	初年次セミナー	1春	1			2						
	基礎演習	1秋	1			2						
	学習技術	1春	1				1					
	リサーチ入門	1夏	1								1	
	小計(9科目)	-	8	3	0	3	1	1	0	0	0	3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	英語科教育法Ⅰ	2春		2		1						
	英語科教育法Ⅱ	3春		2		1						
	英語科教育法Ⅲ	3秋		2		1						
	英語科教育法Ⅳ	3冬		2		1						
	教育学概論	1秋		2							1	
	教職概論	2春			2						1	
	教育社会学	2春		2							1	
	学校経営論	2春		2							1	
	教育制度論	3秋		2							1	
	教育心理学	2秋		2							1	
	発達心理学	1秋		2							1	
	特別支援教育基礎	2夏			1						1	
	教育課程論	3秋			2						1	
	道德教育の指導法	2冬			2						1	
	総合的な学習の時間の指導法	2冬			1						1	
	特別活動の指導法	2春			2						1	
	教育方法論	2秋			2						1	
	教育相談	3春		2							1	
	生徒・進路指導論	3秋			2						1	
	教育実習Ⅰ	3秋～4春			5	1						
教育実習Ⅱ	3秋～4春			3	1							
教職実践演習(中・高)	4秋			2	1							
ボランティア実習	3春			2						1		
英文法研究	2春		2		1							
英語発音クリニック	2春		2		1							
児童英語	3春		2		1							
小計(66科目)	-		16	123	26	5	2	0	0	0	22	
総合演習	専門演習Ⅰ	2春	2			2	1					
	専門演習Ⅱ	3春	2			2	1					
	専門演習Ⅲ	3秋	2			2	2					
	卒業研究	4通	4			2	2					
	小計(4科目)	-	10	0	0	4	4	0	0	0	0	0
基盤教育科目	評価と実践Ⅰ	1～2	1			5	1					
	評価と実践Ⅱ	3～4	1			2	3					
	リーダーシップ演習	1冬		1							1	
	仕事とキャリア形成Ⅰ	2春	2								1	
	仕事とキャリア形成Ⅱ	3秋		2							1	
	初年次セミナー	1春	1			3						
	基礎演習	1秋	1			3						
	学習技術	1春	1			2						
	リサーチ入門	1冬	1								1	
	小計(9科目)	-	8	3	0	6	4	0	0	0	0	3

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	第2外国語(その他の外国語)	中国語 I	1春		2			1						
		中国語 II	1秋		2			1						
		韓国・朝鮮語 I	1春		2								1	
		韓国・朝鮮語 II	1秋		2								1	
	留学生対象の日本語 メンバーシックス	日本語 I	1春		2									1
		日本語 II	1秋		2									1
		日本語 III	1春		2									1
		日本語 IV	1秋		2									1
		日本語 V	1春		2			1						
		アカデミック日本語 I	1春		1		1							
		アカデミック日本語 II	1秋		1		1							
		日本語ライティング I	1春		1									1
		日本語ライティング II	1秋		1			1						
		ビジネス日本語 I	1春		1									1
		ビジネス日本語 II	1春		1									1
		専門日本語 I	1秋		1									1
	専門日本語 II	1秋		1									1	
	情報	ICTリテラシー	1春		2				1					
		ICT活用 A	1秋		2									1
	スポーツ 健康と	生涯スポーツ I	1夏		1									1
		生涯スポーツ II	1冬		1									1
小計(21科目)			-	0	32	0	1	2	1	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	第2外国語(その他の外国語)	中国語 I	1春		2			1						
		中国語 II	1秋		2			1						
		韓国・朝鮮語 I	1春		2								1	
		韓国・朝鮮語 II	1秋		2								1	
	留学生対象の日本語 メンバーシックス	日本語 I	1春・秋		2									1
		日本語 II	1春・秋		2									1
		日本語 III	1春・秋		2									1
		日本語 IV	1春・秋		2									1
		日本語 V	1春・秋		2									1
		アカデミック日本語 I	2春		1		1							
		アカデミック日本語 II	2秋		1		1							
		日本語ライティング I	2春		1									1
		日本語ライティング II	2秋		1			1						
		ビジネス日本語 I	2春		1									1
		ビジネス日本語 II	2春		1									1
		専門日本語 I	2秋		1									1
	専門日本語 II	2秋		1									1	
	情報	ICTリテラシー	1春		2						1			
		ICT活用 A	1秋		2									1
	スポーツ 健康と	生涯スポーツ I	1夏		1									1
		生涯スポーツ II	1冬		1									1
小計(21科目)			-	0	32	0	1	2	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤教育科目	人間の理解	人間学Ⅰ	1秋	2								3	
		人間学Ⅱ	1春	2								3	
		教育と人間形成	1秋	2								1	
			比較宗教論	1春	2							1	
			近現代の歴史	1春	2							1	
		社会と生活	社会階層と文化	1秋	2							1	
			国際社会と政治	1春	2							1	
			日本国憲法	1秋	2							1	
			科学と生活	1秋	2							1	
		科学と生活	環境と生活	1秋	2							1	
			生命と倫理	1秋	2							1	
	情報と社会		1春	2							1		
	小計(11科目)			-	4	18	0	0	0	0	0	0	14
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏・冬	1								1	
		グローバルスタディⅡ	2夏・冬	2								1	
		グローバルスタディⅢ	2夏・冬	3								1	
		地域研究(北米圏)	4春	2								1	
		地域研究(アジア圏)	1秋	2				1					
		日本事情	1秋	2			1	1					
		日本文化論	1春	2								1	
小計(7科目)			-	0	14	0	1	2	0	0	0	3	
コミュニティスタディ	地域防災減災論	1冬	2								1		
	災害と安全	1冬	2								3		
	ボランティア論	1春	2								1		
	小計(3科目)			-	0	6	0	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤教育科目	人間の理解	人間学Ⅰ	1秋	2								3	
		人間学Ⅱ	1春	2								3	
		教育と人間形成	1秋	2								1	
			比較宗教論	1春	2							1	
			近現代の歴史	1秋	2							1	
		社会と生活	社会階層と文化	1秋	2							1	
			国際社会と政治	1春	2							1	
			日本国憲法	1秋	2							1	
			科学と生活	1秋	2							1	
		科学と生活	環境と生活	1秋	2							1	
			生命と倫理	1秋	2							1	
	情報と社会		1春	2							1		
	小計(15科目)			-	4	26	0	0	0	0	0	0	18
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏・冬	1								1	
		グローバルスタディⅡ	2夏・冬	2								1	
		グローバルスタディⅢ	2夏・冬	3								1	
		地域研究(北米圏)	4春	2								1	
		地域研究(アジア圏)	1秋	2								1	
		日本事情	1秋	2					1				
		日本文化論	1春	2								1	
小計(7科目)			-	0	14	0	0	1	0	0	0	4	
コミュニティスタディ	地域防災減災論	1冬	2								1		
	災害と安全	1冬	2								3		
	ボランティア論	1春	2								1		
	小計(3科目)			-	0	6	0	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤教育科目	特別研究Ⅰ	※		1							1
	特別研究Ⅱ	※		2							1
	特別研究Ⅲ	※		3							1
	特別研究Ⅳ	※		4							1
	小計(4科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	1
	課題研究Ⅰ	※		4			1				
	課題研究Ⅱ	※		8			1				
	課題研究Ⅲ	※		12			1				
	課題研究Ⅳ	※		16			1				
	小計(4科目)	-	0	40	0	0	1	0	0	0	0
合計(155科目)		-	60	273	26	4	4	1	0	0	48
卒業要件及び履修方法											
必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位以上、「リベラルアーツ(人間の理解)」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」(各2単位)を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」(※1)より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上(※2)の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期)) (※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。 (※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービラーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤教育科目	特別研究Ⅰ	1春・秋		1							1
	特別研究Ⅱ	※		2							1
	特別研究Ⅲ	※		3							1
	特別研究Ⅳ	※		4							1
	小計(4科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	3
	課題研究Ⅰ	※		4			1				
	課題研究Ⅱ	※		8			1				
	課題研究Ⅲ	※		12			1				
	課題研究Ⅳ	※		16			1				
	小計(4科目)	-	0	40	0	0	2	0	0	0	0
合計(166科目)		-	60	297	26	6	4	0	0	0	58
卒業要件及び履修方法											
必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位以上、「リベラルアーツ(人間の理解)」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」(各2単位)を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」(※1)より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上(※2)の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期)) (※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。 (※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービラーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教員組織調整のため、「基礎英語1」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員組織調整および教育効果を高めるため、「リーディング1」の教員配置を専任教員「講師1」から「兼任2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「オーラル・コミュニケーション1」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「マーケティング」の配当時期を「1秋」から「1春」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「ファイナンス」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「英語基礎2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しと教員組織調整のため、「リーディング2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教員配置を専任教員「准教授1」と「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しと教員組織調整のため、「ライティング2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教員配置を専任教員「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しと教員組織調整のため、「オーラル・コミュニケーション2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教員配置を専任教員「准教授1」と「兼任1」から専任教員「教授1」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「英語総合1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「リーディング総合1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「ライティング総合1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更し、教育効果を高めるため、教員配置を専任教員「教授1」と「兼任1」から専任教員「教授1」「准教授1」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「アドバンスト・コミュニケーション1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「英語総合2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教育効果を高めるため、教員配置を「兼任1」から専任教員「准教授1」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「リーディング総合2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、着任予定教員退職による調整のため、教員配置を専任教員「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「ライティング総合2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教育効果を高めるため、教員配置を「兼任1」から専任教員「教授1」「准教授1」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「アドバンスト・コミュニケーション2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、着任予定教員退職による調整のため、教員配置を専任教員「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・カリキュラムの調整のため、「インテンプイングリッシュⅡ」の配当時期を「1冬」から「1夏」に変更。
- ・カリキュラムの調整のため、「インテンプイングリッシュⅢ」の配当時期を「1夏」から「1冬」に変更。
- ・カリキュラムの調整のため、「経済学基礎」の配当時期を「1夏」から「1秋」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「国際関係」の教員配置を「兼任1」から専任教員の「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「国際経済論」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「アジアマーケティング論」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「ビジネス統計学」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「国際通商法」を追加し、専任教員「教授1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「国際経営論」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「インバウンドツーリズム産業論」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「社会学概論」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、「インターンシップⅠ」の開講数を増やし、「1夏」から「1夏・冬」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「インターンシップⅡ」の開講数を増やし、「1夏」から「1夏・冬」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「インターンシップⅢ」の開講数を増やし、「1夏」から「1夏・冬」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「言語学概論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・カリキュラムの調整のため、「教育学概論」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更。
- ・カリキュラムの調整のため、「教育心理学」の配当時期を「2春」から「2秋」に変更。
- ・カリキュラムの調整のため、「発達心理学」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「専門演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「専門演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「専門演習Ⅲ」の専任教員の配置を「教授2」「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「卒業研究」の専任教員の配置を「教授2」「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授5」「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「初年次セミナー」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「基礎演習」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「学習技術」の専任教員の配置を「講師1」から「教授2」に変更。
- ・カリキュラムの調整のため、「リサーチ入門」の配当時期を「1夏」から「1冬」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅲ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅳ」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅴ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。カリキュラムの調整に伴い教員配置を専任教員「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティングⅠ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティングⅡ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語Ⅱ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語Ⅰ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「ICTリテラシー」の専任教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「倫理と社会生活」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、「人権と法」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・カリキュラムの調整のため、「近現代の歴史」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「データサイエンス」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、「食と健康」を追加し、「兼任1」を配置。
- ・教員組織調整のため、「地域研究(アジア圏)」の教員配置を専任教員「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教員組織調整のため、「日本事情」の教員配置を専任教員「教授1」「准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「特別研究Ⅰ」を「1春・秋」の2回開講に変更。

(注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
25 科目	118 科目	12 科目	155 科目	25 科目 [-]	129 科目 [11]	12 科目 [-]	166 科目 [11]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{155} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と別地 (徒歩20分)			
	校舎敷地	9,150.6㎡	0㎡	0㎡	9150.6㎡				
	運動場用地	48,543.3㎡	0㎡	0㎡	48,543.3㎡				
	小 計	57,693.8㎡	0㎡	0㎡	57,693.8㎡				
	そ の 他	25,068.5㎡	0㎡	0㎡	25,068.5㎡				
	合 計	82,762.3㎡	0㎡	0㎡	82,762.3㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	31,536.95㎡ (31,536.95㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	31,536.95㎡ (31,536.95㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	19 室	53 室	14 室	2 室 (補助職員 5人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 専任教授1名を新規 採用のため(元)			
	国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科		10 9 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本			
		[うち外国書]	[うち外国書]				電子ジャーナル		
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	国際コミュニケーション学部	193,994 [17,680] (171,994 [17,560])	1,872 [197] (1,872 [197])	4,310 [2,044] (4,310 [2,044])	5,058 (4,818)	6,520 (6,520)	51 (51)		
計	193,994 [17,680] (171,994 [17,560])	1,872 [197] (1,872 [197])	4,310 [2,044] (4,310 [2,044])	5058 (4,818)	6520 (6,520)	51 (51)			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数						
	2,048.00㎡	291	214,830冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	1,363.77㎡	テニスコート5面		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費は大学全体、図書購入費は電子ジャーナル、データベース、その他の経費を含む
		教員1人当たり研究費等	261千円	261千円	図書購入費	23,271千円	23,271千円	23,271千円	
		共同研究費等	7,120千円	7,120千円	設備購入費	34,281千円	34,281千円	34,281千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,459千円	1,159千円	1,159千円	1,159千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	関西国際大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人間科学部										
経営学科	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	平成23	兵庫県三木市志染町 青山1丁目18番	平成31年学生募 集停止
人間心理学科	4	125	0	500	学士 (行動科学)	1.00	-	平成19	同上	
教育学部										
教育福祉学科	4	150	0	600	学士 (教育福祉学)	1.09	-	平成19	兵庫県尼崎市潮江1 丁目3番23号	
英語コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (英語学)	-	-	平成19	同上	平成31年学生募 集停止
経営学部										
経営学科	4	100	3年次 20	440	学士 (経営学)	1.13	-	平成31	兵庫県三木市志染町 青山1丁目18番	
国際コミュニケーション学部										
英語コミュニケーション学科	4	50	0	200	学士 (英語学)	1.10	-	平成31	兵庫県尼崎市潮江1 丁目3番23号	
保健医療学部										
看護学科	4	80	0	320	学士 (看護学)	1.12	-	平成25	兵庫県三木市志染町 青山1丁目18番	
大学全体	4	230	20	960	-	1.08	-	-	-	
大学 の 名 称	関西国際大学大学院									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
人間行動学研究科										
人間行動学専攻	2	8	-	16	修士 (人間行動学)	0.43	-	平成17	兵庫県三木市志染町 青山1丁目18番	
臨床教育学専攻	2	8	-	16	修士 (教育学)	1.18	-	平成26	兵庫県尼崎市潮江1 丁目3番23号	
看護学研究科										
看護学専攻	2	6	-	12	修士 (看護学)	0.66	-	平成27	兵庫県三木市志染町 青山1丁目18番	
大学院全体	2	22	-	44	-	0.75	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 126単位（必修科目60単位、選択必修科目37単位、 選択科目29単位）	① 学生の専門性をより高めるため、選択科目を12科目 追加（内訳：2単位科目11、4単位科目1）。 （修了要件単位数は変更なし） （「様式2 授業科目の概要」(1)-①授業科目表を参照）
② 施設・設備 専任教員研究室 9室	② 専任教員数の増加により、10室に変更。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>高等教育研究開発センターの下に、教育開発部門と初年次教育部門が設置されている。各部門にはそれぞれ委員会が設置されており、そこで協議しつつ、教員の資質の維持向上のために取り組んでいる。また、FD及びSD活動はPDとして、教員の資質向上については教育開発委員会が、職員の資質向上については人財育成課が中心となり進めている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例委員会を原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時委員会を開催している。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学位授与の方針及び教育課程編成の方針に基づいた教育の実施に際して必要な教育方法及び評価方法の開発と普及に関する事項 ・ 授業のアンケートに関する事項 ・ シラバスに関する事項 ・ ルーブリックに関する事項 ・ PD（FD及びSD）に関する事項 ・ 卒業研究登録資格認定試験に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関西国際大学における教育の方向性についての共有 ・ 学期の主題に関する研修 ・ アドバイジング ・ IRデータによる現状把握 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学PD（FD及びSD）におけるワークショップ、内部教員及び外部講師による研修等
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（2018年度実績）

- ・第1回（8/22・23）「専門的知識・活用力」を身につけるために必要な教育方法とは何か」
 - ・第2回（9/20）「「専門的知識・活用力」「問題発見・解決力」を身につけるために必要な教育方法とは何か」
 - ・第3回（2/14・15）「次年度の5学部体制に向けたカリキュラムの履修指導の準備はできているか」
- 教員は原則全員、職員は部課長以上は原則全員の出席を義務付けている。また、毎回各学科からの学生有志の参加も受け入れ内容を公開するとともに、学生による講評や改善提案等の意見も積極的に取り入れている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

2018年度に主として取り組んだ主題設定については各学科に持ち帰り、学科会議および学科FDで具体的な導入を進めている。また、IRデータによる本学の教育の強み・弱みについては、全員で共有し、各学科においてそれを踏まえた取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・各学期ごとに中間および期末の授業評価を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、教授会での報告と併せて学内ネットワークで教員や学生に公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
該当なし
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
該当なし
- c 委員会の審議事項等
該当なし
- d その他
該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容
該当なし
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>設置の趣旨に基づき、専門知と経験知の往還により実際の現場で必要となる能力の習得を行うため、教室外学修機会の充実、アクティブラーニングの教育方法を取り入れることを推進している。学生募集及び退学率については、学科設置時より留意し、更なる教育内容の充実や学生募集活動により安定した学科運営を目指していく。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・令和元年6月 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例)</p> <p>・自己点検・評価報告書を刊行</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定（令和元年6月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・令和4年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）</p> <p>a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ）</p> <p>b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年7月1日 ）</p> <p>b 公表無の場合の特段の理由 （ ）</p>
--

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。